

「市民後見人養成スタートアップ講演会」の報告



日 時：平成 24 年 2 月 16 日（木）13:30～16:00

会 場：横浜市教育会館ホール

主 催：横浜生活あんしんセンター、横浜市健康福祉局

参加者：437 名

【内訳】一般 235 名

関係機関（区役所、区社協、地域ケアプラザ等）202 名

◀パネルディスカッションの様子

講演会はパネルディスカッション形式で行い、前半は先進的に取り組んでおられる品川成年後見センター所長の齋藤修一氏と市民後見人の方から品川区の取組について、質問も交えてうかがいました。後半は、横浜市における市民後見人のあり方と今後について、横浜市における市民後見人に関する検討委員会委員の方々からお話いただきました。

【コーディネーター】横浜市における市民後見人に関する検討委員会（以下、検討委員会）委員長 国際医療福祉大学大学院教授 高橋 紘士氏

【パネリスト】品川成年後見センター所長 齋藤 修一氏 及び 市民後見人の方
検討委員会委員 延命 政之氏（弁護士）、佐々 美弥子氏（社会福祉士）、
木村 一美氏（司法書士）、井出 順氏（行政書士）
検討委員会事務局、横浜市健康福祉局福祉保健課長 深川 敦子

パネルディスカッション <セッション1>

テーマ：「先進事例に学ぶ！品川区における市民後見人の取組」

【講演】

○齋藤所長より

- ・市民ひとり一人が地域を支え、新しい人の縁をつくることが市民後見人の取組である。
- ・市民後見人がしっかりと活動をするには、市民後見人の支援体制が大切である。

○市民後見人の方より

- ・市民後見人は、「時間」「意欲」「社会貢献の意識」があればできる。人の役に立てるのが喜びである。

【検討委員会委員から品川区への質問】

- 齋藤所長への質問：市民後見人への支援、課題と解決に向けた方策、市民後見人への期待 等
- 市民後見人の方への質問：市民後見人の強みや課題 等



▲齋藤所長（左）と市民後見人の方（中央）

パネルディスカッション <セッション2>

テーマ：「横浜市における市民後見人のあり方と今後の展望」

- 成年後見制度は、本人の地域での生活を支援することがポイント。地域で生活する市民後見人は、本来の後見人である。
- 「市民後見よこはまモデル」は、既存の仕組みを活かし、地域の力をつなげる考え方に基づく。
- 行政、社会福祉協議会、地域包括支援センター、専門職団体等が縦割りではなく、横につながり、それぞれの持ち味を活かしながら役割分担をしていく必要がある。
- 団塊世代の支え手としての潜在力を引出し、市民が主役の支え合える地域をつくっていききたい。

ご来場者アンケートより（回答数 204 名）

1 講演会で興味や関心を持った内容

地域福祉に着眼した「市民後見よこはまモデル」について、その意義、役割、研修内容、支援体制に関心を持ったという意見が多くありました。

また、品川成年後見センターの取組事例を通じて市民後見人の必要性をイメージすることができ、今後の「市民後見よこはまモデル」の具体的な展開に興味を持ったという意見もありました。

2 「市民後見よこはまモデル」にどのような関わりができそうか

【行政】 高齢者・障害者支援のひとつに成年後見制度があることをもっと打ち出していき、区長申立てを含む後見申立ての推進を図る必要がある。一方で現在の「成年後見サポートネット」の状況でどこまでフォローできるか心配もある。

【区社協】 地域福祉推進の原点に戻って関係者と連携していきたい。しかし、質の高いスーパーバイザーを区社協が担えるかという点と難しく感じる。

【包括】 地域の見守りネットワークにおける核として市民後見人と連携を密にし、被後見人が地域でその人らしく生活が送れるようにお手伝いしたい。

【一般】 定年後の活動の場、社会貢献の場として市民後見人活動をしたい。
養成研修への参加を希望したい。

3 その他ご意見・ご感想

【意見】

市民後見人支援体制構築の必要性や、養成研修受講対象者に関する意見、また、養成課程に関する意見を多くいただきました。

【感想】

「横浜方式が全国のモデルケースになってほしい」、「社協の存在意義が強まる」との期待を抱いた感想や、「品川の市民後見人の話が、気持ちに拍車をかけてくれた」等の市民後見人希望者の意欲がうかがえる感想を多くいただきました。

いただいたご意見等を参考に、今後横浜市における市民後見人養成・活動支援を推進していきたいと考えております。
ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



<参考>

◆当日プログラム◆

時間	内容
13:30	開会、主催者挨拶
13:35	パネルディスカッション <セッション1>
14:35	「横浜市における市民後見人に関する検討委員会報告書」の概要
15:00	パネルディスカッション <セッション2>
16:00	閉会挨拶、閉会